

第5学年 社会科学学習指導案

日時 平成19年8月29日(水) 5校時

児童 男5名 女10名 計15名

指導者 菊池 知之

1 単元名 工業生産を支える人々 「新車を無きずのままで」

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、社会科の第5学年の目標の(1)「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。」(3)「社会的事象を具体的に調査し、地図・統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」を受けて設定されている。

ここでは、「様々な工業製品が国民生活を支えていること」「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き」の大きく3つを学習の中で調べる対象としている。これらを実際的な調査活動を行ったり、各種の地図や統計などを活用したりしていくを通して、我が国の工業生産の特色や支える人々の様子をとらえさせるようにし、また、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにしていく。

自動車は現代の生活においては間違いなく欠かせないものとなっている。児童自身も毎日の生活の中で自動車と関わった生活をしている。しかし、自動車の色や大小の違いこそ分かるものの用途や車種などに関心の高い児童はあまり多くない。そこで、工場で作られた自動車がどのようにして運ばれるのかという過程と関わる人たちの工夫や努力にはどのようなものがあるのかという問題意識をもつことができるようにさせたい。

(2) 児童について

学級の児童は明るく素直で、学習に対して意欲的に取り組もうとする。学習中は、話を集中して聞く姿勢が身に付いてきている。しかし、発表する場面では、自分の考えを持っていても自信がもてずに、周りの児童が手を挙げてから自分も挙げたり、小さな声での発表になったりするような様子が日常に見られる。また、班の代表で発表するような場面でも、一部の児童に頼りがちな傾向が見られる。また、資料を追究して自分で根拠を考えたり、まとめたりする力は十分ではない。

これまで児童は、3年生では、校区探検やお店調べ、4年生では、消防署等の施設見学等の体験的な活動を通じた学習を行ってきた。5年生の1学期には、日本全国の都道府県名に触れ、自分が行ったことがあったり、名前を聞いたことがあったりする都道府県を調べる学習を行っている。また、「食料生産を支える人々」の学習では、魚や野菜などの生鮮食品を届ける過程を学習し、そのための努力や輸送の仕組みについても学習してきた。しかし、調べる対象が身近な場所から離れる場合は、社会科への関心や、資料を活用する力が不十分であると感じる。そのため、児童に対しては、できる限りわかりやすい具体的な資料を使用することや体験的な活動を取り入れながら進めることを重視して学習を進めていきたい。

(3) 本時の指導にあたって

指導にあたっては、自動車を運ぶ過程にはどのような仕事があるのか考え、その仕事にはどんな工夫や努力があるのかだろうという問題意識をもたせることでねらいに迫るようにする。

児童の学習理解の手がかりとなるよう、学区内にある「ロータス マルオク」の協力を得ながら学習を進める。自動車輸送について直接携わっている人たちは、商品にきずを付けたくないよう、細心の注意を払っており、「ロータス マルオク」の活動を取りあげることで、自動車の輸送について実感的に捉えることができると思う。また、ゲストティーチャーの話から、体験や仕事に対する思いなどにも気付かせたい。自動車輸送に関わる人たちの工夫や努力を様々な資料から調べ、自分たちが調べたことを確かめるという活動を通して、運輸に関する人々の取り組みの重要性に気付かせ、工業生産において、運輸が重要な役割を果たしていることを捉えさせる。

3 単元の目標

- ・ 工業がさかんな地域の様子を具体的に調べ，工業生産に携わる人々が生産を高める工夫・努力をしていることや，日本の工業の現状と課題をとらえることができる。
- ・ 工業生産に関する写真や地図，統計などの資料を収集・選択し，国民生活を支える工業生産の意味や，運輸・貿易のはたらきについて関連づけながら考えることができる。

4 単元の評価規準

【社会事象への関心・意欲・態度】

日本の工業生産について関心をもって意欲的に調べ，工業製品を生産する仕事の大切さを指摘しようとする。

【社会的な思考・判断】

工業生産に携わる人々の生産を高める工夫・努力・思いや，工業生産と貿易・運輸のはたらきとの関わりについて考えることができる。

【観察・資料活用の技能・表現】

工業生産に関する写真や地図，統計などの資料を，目的に合わせて収集・選択し，的確に読み取ることができる。

【社会事象についての知識・理解】

工業がさかんな地域の様子や，日本の工業の現状と課題がわかる。

5 指導計画

工業生産を支える人々（25時間）

時数	中・小単元	ねらい	関心 意欲 態度	思考 判断	技能 表現	知識 理解	学習活動
1	オリエンテーション	自動車の福祉車両の観察を通して，人々の暮らしを豊かにする工業について興味や関心をもち，調べてみようとする意欲をもつことができるようにする。					自動車の福祉車両を観察して，気がついたことを書き出す。 福祉車両には，人々のどんな願いが込められているのかを話し合う。
13	1 自動車工場をたずねて（13時間） (1) 自動車づくりにはげむ人々	自動車の組み立てとシートづくりの仕事について調べ，工場で働く人たちの工夫や努力・思いをとらえるとともに，自動車工場と関連工場との結びつきについて気づくことができるようにする。					自動車づくりについて疑問に思ったことを発表し合い，学習の計画を立てる。 自動車工場の配置の工夫や，そこに工場がつけられたわけを考える。 自動車ができるまでの工程や，工場で働く人たちの工夫や努力・思いについて調べる。 働く人や地域の環境に配慮した自動車生産の工夫について調べる。

						<p>部品のシートをつくる工場について調べ，関連工場と自動車工場との結びつきについて考える。</p> <p>関連工場で働く人たちの工夫や努力，思いについて調べる。</p>
	<p>(2) 自動車がとどくまで (本時)</p>	<p>完成した自動車を運ぶ仕事について調べ，輸送に携わる人たちの工夫や努力・思いをとらえるとともに，工業生産を支える運輸のはたらきに気づくことができるようにする。</p>				<p>新車を船に積み込む仕事の様子を調べる。</p> <p>自動車の輸送に携わる人たちの工夫や努力・思いについて考える。</p> <p>全国各地を結ぶ交通網の広がりや，運輸の仕事に果たす役割を調べる。</p>
	<p>(3) これからの自動車づくり</p>	<p>自動車に乗る人たちの願いについて調べ「安全で，人や環境に，やさしい」自動車づくりが進められていることに気づくことができるようにする。</p>				<p>自動車を利用する人たちが，どんな車に乗りたいと考えているかを調べ，発表し合う。</p> <p>「安全で，人や環境にやさしい」自動車づくりの工夫や研究について調べる。</p> <p>これからの自動車づくりについて，自分の考えをまとめる。</p>
4	<p>2 世界とつながる自動車（4時間）</p>	<p>貿易による世界各国との結びつきについて調べ，その特色や問題をとらえることから，貿易の進め方について考えをもつことができるようにする。</p>				<p>自動車を外国へ輸送する仕事について調べる。</p> <p>地図と地球儀の違いや，地球儀を使って，世界各国の位置や日本からの距離・方位を調べる。</p> <p>日本の自動車の輸出や海外での生産の様子を調べ，これからの日本の自動車生産について話し合う。</p> <p>日本の貿易の特色や問題を調べ，これからの貿易の進め方について話し合う。</p>
5	<p>3 工業の今と未来（5時間） (1) 日本の工業の特色</p>	<p>工業のさかんな地域や，大工場と中小工場での生産の違いについて調べ，日本の工業の特色をとらえることができるようにする。</p>				<p>身の回りにある工業製品を調べ，工業の種類ごとに分類する。</p> <p>日本の工業のさかんな地域を調べ，そのわけを考える。</p>

						大工場と中小工場の生産の違いや、中小工場の抱える問題と解決のための努力について調べる。
	(2) これからの工業生産	工業の発達と自分たちのくらしの変化とのつながりに気づき、これからの工業生産の進め方について考えをもつことができるようにする。				工業の発達によって、人々のくらしがどのように変わってきたかを調べる。 これからの工業生産について、自分の考えをまとめて発表し合う。
1	自動車すごろくをつくろう・回る絵本をつくろう	これまでの学習をふり返り、自動車が生産されて自分たちのもつに届くまでの様子などを、すごろくや回る絵本にまとめることができるようにする。				テーマを決めて作品づくりの計画を立て「自動車、すごろく」や「回る絵本」を作る。 お互いの作品を見合い、作品のよさや工夫について意見を交換し合う。
(1)	はってん ＜物づくりに情熱をかけた人たちに学ぼう＞	日本のすぐれた工業技術を生み出してきた先人の努力や思いを調べ、人々のくらしを豊かにする物づくりの意味や、その人たちの生き方から学べることについて考えることができるようにする。				日本の工業の歩みを支えてきた人たちが生み出した技術や製品、物づくりにかけた情熱などについて調べる。 物づくりが人々のくらしに果たしてきた役割や、その人たちの生き方から学べることについて考え合う。

6 本時の指導

(1) 目標

自動車輸送に関わる人たちの工夫や努力について、関心を持つ。

自動車輸送に関わる人たちの工夫や努力、思いについて理解することができる。

(2) 具体的評価規準

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への支援
自動車輸送に関わる人たちの工夫や努力・思いについて理解することができる。	自動車輸送に関わる人たちがきずを付けないように気をつけていることを理解し、その工夫や努力を資料から見つけ、思いと関わらせてまとめている。	自動車輸送に関わる人たちがきずを付けないように気をつけていることを理解し、その工夫や努力を資料から見つけている。	ゲストティーチャーの話から、きずを付けないように気をつけていることを理解させ、手がかりとなる資料から工夫や努力を見つけさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習内容	指導上の留意点	資料
課題の把握 5	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を立てる。 自動車を運ぶ人たちの工夫や努力について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動を想起させ、本時の学習の内容について確認する。 本時の課題を確認する。 	前時で使用した写真・資料 写真
課題追究 32	3 予想を立てる。 ・ のせるときの工夫 ・ 運ぶときの工夫 4 自動車を運ぶ人たちの工夫や努力について調べる。 ・ のせるときの工夫や努力について ・ 運ぶときの工夫や努力について 5 調べたことを発表し合う。 6 工夫している点から、自動車を運ぶ人が心がけていることについて話し合う。 7 ゲストティーチャーの話をお聞きして、心がけていることについてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> キャリアカーで運ぶ人たちの工夫している点や努力について調べさせる。 資料をもとに個人で調べる。 個人で調べて分かった内容を話し合い、交流する。 板書にまとめ、発表内容を整理する。 自動車を運ぶ人がどんなことを心がけているかを考えさせる。 不思議に思ったことや、分からないことを質問し、確かめる。 	写真 資料集 (輸送に用いる) 道具 ゲストティーチャー
まとめ発展 8	8 今日の学習を振り返り、まとめる。 自動車輸送に関わる人たちは、お客さんのためきずを付けないよう、気をつけて運んでいる。そのために、テープを貼ったり、ワイヤーで締めたり、様々な工夫をしている。 9 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返りながら、自己評価、相互評価を行わせる。 児童のまとめを紹介し、交流する。 次時は全国の交通網について学習することを確認する。 	

【参考】板書計画

前時から本時の学習の流れ(絵)

キャリアカーの写真

自動車輸送のグラフ

課題 自動車を運ぶ人たちの工夫や努力について調べよう。

- 【予想】・動かないようにしている。
・傷を付けないようにしている。

etc

のせるときの工夫

運ぶときの工夫

(必要に応じて写真や資料を掲示)

まとめ 自動車輸送に関わる人たちは、お客さんのためきずを付けないよう、気をつけて運んでいる。そのために、テープを貼ったり、ワイヤーで締めたり、様々な工夫をしている。